

## 乳房温存術後の変形、あきらめていませんか？

当院では、乳房全摘術または乳房部分切除術後、放射線治療を受けられた方を対象に、培養脂肪幹細胞を付加した脂肪を段階的に注入し、乳房を再建する治療を行っています。この治療は、再生医療であり、保険外診療となり全額自己負担となります。

### ◆ 培養脂肪幹細胞付加脂肪注入法とは、

患者さんからごく少量の脂肪を採取し、その中に含まれる幹細胞を培養し、高濃度幹細胞を含んだ脂肪組織を注入することで、組織の肥沃化を促し、組織の血行・柔軟性を改善する新しい再生技術です。その結果、低侵襲かつ柔らかく自然な形に再建することができ、乳房の引きつれや変形でお悩みの方、放射線治療後乳房再建ができなかった方をも、治療することができます。

### ◆ 治療の流れ

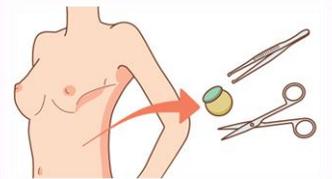
#### ・術前検査

手術前の検査として採血、心電図、胸部レントゲンなどの通常の術前検査に加えて、乳房切除部の傷や凹みの具合、皮膚の状態をエコーやCTを使って測定します。

#### ・手術①<幹細胞培養用の脂肪採取>

局所麻酔で行います。手術の時間は15分～30分程度です。

脂肪吸引予定部位から5mm程度の傷で小豆大程度の脂肪組織を採取します。



#### ・手術②<切除部培養幹細胞注入> (手術①から約10週間後)

全身麻酔で行います。

脂肪吸引し、培養した幹細胞を混ぜて傷・凹み部に注入します。

必要であれば傷のひきつれなどの形成手術も行います。



#### ・術後診察 (手術②から1か月後、2か月後、3か月後)

術後の状態を診察し、傷や凹みの具合、皮膚の状態 (エコー、CT) を測定します。(1時間程度)

#### ・手術③<乳房再建を希望される方> (手術②から3か月後～6か月後)

全身麻酔で行います。

脂肪吸引し、培養した幹細胞を混ぜて傷・凹部を含めた全乳房に注入する (保険適用外) か、人工物を用いた乳房再建術 (保険適用) を行います。



#### ・術後診察 (手術③から1か月、3か月、6か月)

術後の状態を診察し、傷や凹みの具合、皮膚の状態 (エコー、CT) を測定します。(1時間程度)

### ◆ 料金 (自費診療)

幹細胞培養用の脂肪採取 2万円

培養脂肪細胞付加脂肪注入術 60万円～ (加工細胞数により変動します)

詳しくは 相良病院 形成外科 までご相談ください

TEL .099 - 210 - 7821 (相良病院 3階外来) 受付時間 月～金曜 14:00～17:30